

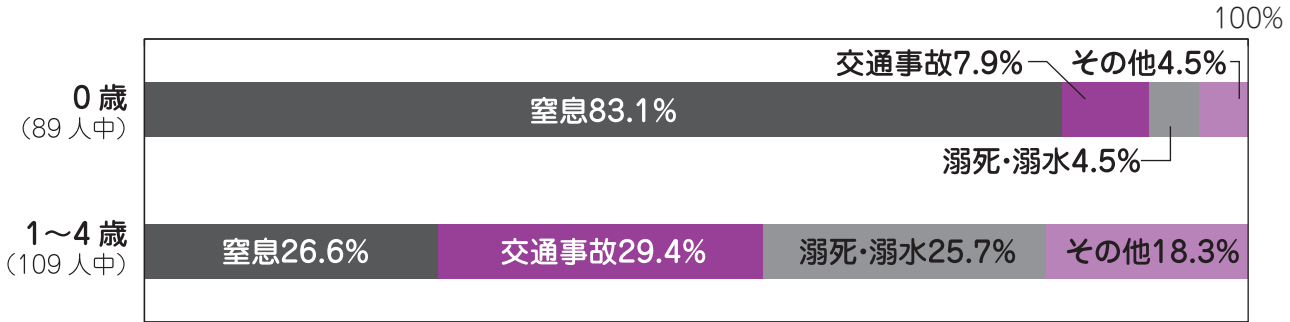


# 子どもの事故を予防しよう!

自分で危険を判断できない子どもは、様々な事故やけがと隣り合わせです。成長の時期によって、周りの大人が注意しなければいけない事故は異なります。今回は、子どもに多い「不慮の事故」について紹介します。

不慮の事故と呼ばれるものは、窒息、溺死及び溺水、交通事故、転倒及び転落、煙火及び火災、中毒などがあります。その中でも、0歳児では「窒息」、1～4歳児では「交通事故」が多いので注意が必要です。

## 不慮の事故による死亡の状況(年齢別)



【参考資料:2015/2016「国民衛生の動向」より】

### 窒息

- 窒息の原因 ・吐いた物 ・枕や軟らかい布団 ・喉に引っかかる飲み込めない大きさの物 など
- 窒息の予防 ・頭が沈んでしまう軟らかい枕や布団は避ける。  
・手の届く範囲に子どもの口に入る物を置かない。

※応急手当は母子健康手帳を参照してください。また、飲み込んだ物によっては、窒息だけでなく中毒の危険性があります。子どもが誤飲した物が、毒物(薬品、有毒植物など)の場合は、種類によって応急手当の方法が違います。下記にお問い合わせください。

## 中毒110番(財)日本中毒情報センター

- 大阪中毒110番 ⇨ ☎ 072-727-2499 (365日24時間対応)
- つくば中毒110番 ⇨ ☎ 029-852-9999 (365日9時～21時対応)
- たばこ専用回線 ⇨ ☎ 072-726-9922 (365日24時間テープ対応)

※中毒110番では、食中毒(細菌性)、慢性の中毒、小石・ピー玉などの異物誤飲については受け付けていませんので、最寄りの医療機関へご相談ください。

### 交通事故

- 子どもを抱っこして車に乗るのは危険です。車が衝突すると腕から飛び出し、顔や頭をシートやダッシュボードにぶつけて、事故の衝撃をまともに受けてしまいます。
- エアバック付きの車の助手席にチャイルドシートを取り付けるのは、衝撃によってエアバックが作動すると押しつぶされる可能性があるため危険です。
- 車のドアを閉めるとき、子どもの指を挟まないか確認をしましょう。
- 子どもに交通ルールを教えましょう。

車の助手席で抱っこで乗ると危険!

